



**第9回さんさ時雨岩出山大会  
いっまでも唄い継ぎたい (岩出山)**

郷土を代表する民謡「さんさ時雨」を正しく唄い継承し、民謡を通して心豊かな活気ある地域づくりをしようと、平成10年から開催されてきた「さんさ時雨いわでやま大会」。9回目となった今回は、4月23日、大崎市中央公民館を会場に行われました。県内から118人がエントリーし、普段から鍛え上げた自慢ののどを競いました。参加した皆さんは、三味線や尺八の本格的な生伴奏に合わせて、堂々と気持ちよく唄い上げていました。

**菜の花まつり  
一百万本の菜の花の丘 (三本木)**

三本木地域齊田地区にあるひまわりの丘に、約200万本の菜の花が咲きそろい、4月22日から5月7日まで、「菜の花まつり」が開催されました。見渡す限り黄色に染まった丘は息をのむ美しさ、まるで別世界を訪れたような心はずお気分させてくれます。今年は、気まぐれな天候のおかげで、市内の桜の名所も例年よりも遅めに咲き、菜の花と桜と一緒に見られる幸運も。夏にはヒマワリが再び丘を黄色に染めます。こちらもまた楽しみです。



**一ノ蔵で「蔵開放」  
やっぱり日本酒がいいね (松山)**

4月22日、松山地域の一ノ蔵において、「第13回一ノ蔵蔵開放」が開催されました。当日は、市内外から多くの方々を訪れ、特別に開放された蔵の中で、日ごろ、自分が飲んでいる日本酒が造られる工程を見学していました。見学した後は、訪れた方々一人ひとりに手渡された「ぐい呑み」片手に、試飲コーナーや試食コーナーを思い思いに巡っていました。作る工程を見学した後の一杯は、一段とおいしさが増していたようです。



**大豆坂地蔵例大祭  
きれいでかわいい稚児行列 (三本木)**

4月24日、延命、子育てで有名な三本木地域の大豆坂地蔵尊で例大祭が行われ、子どもの健康や長寿を願う家族連れの方々が大勢訪れました。恒例の稚児行列も行われ、色鮮やかな装束に身をまとい、男の子は烏帽子、女の子は冠をかぶり、鼻筋に白粉を塗ったかわいらしい姿で、通りをねり歩きました。また、この日は、交通安全パレードも行われ、かわいい子どもたちや高齢者の交通安全を呼びかけました。

**鳴子ダムで「すだれ放流」  
巨大な滝を鯉が昇る! (鳴子温泉)**



6年の歳月をかけ、昭和32年に完成した鳴子ダムは、東北初のアーチ式ダムで、国内では初めて日本人だけで造られたダムとして有名です。その鳴子ダムで、5月3日から5日の3日間、「すだれ放流」が行われました。これは、かんがい用水確保のため、昭和33年からほぼ毎年行われているもので、満水となったダムの上から、水をあふれさせます。幅95m、高さ約80mから大きな滝のように流れ落ちる様子は迫力満点。ちょっと離れた所から雄大な景色を楽しむ人、ダムの上から、間近にその迫力を感じる人など、風薫る新緑の中で、ひと時、雄大な気分ひたっていました。また、滝を昇るがごとく、たくさんの鯉のぼりも飾られ、ゴールデンウィーク期間中は、大勢の人でにぎわいました。



**第10回パークゴルフ全国交流大会「さくらカップ」  
全54ホールで熱い戦い (田尻)**

4月22日・23日の2日間、田尻地域の加護坊パークゴルフ場において、大崎市誕生記念第10回パークゴルフ全国交流大会「さくらカップ」が開催され、全国1都1道12県76市町村から449人(男:311人、女:138人)の選手が出場しました。2日間ともに天候に恵まれ、晴れ渡った青空の下、日ごろの練習の成果を発揮し、全54ホールで熱い戦いを繰り上げていました。

【大会結果】※優勝者のみ ●男子の部優勝 佐々木勝彦さん(大崎市田尻) ●女子の部優勝 門脇栄美子さん(加美町)

**ふるかわふじまつり・緒絶川に錦鯉放流  
いっまでも美しい流れに (古川)**

5月8日から29日まで、緒絶川周辺を会場に「ふるかわふじまつり」が開催されました。期間中は川を渡すように設置されている藤棚がライトアップされ、道行く人の目を楽しませてくれました。また、13日には、太鼓や琴の演奏、ダンスやコーラス、商店街の協賛行事など各種イベントが行われたほか、緒絶川荒川清流化促進協議会の皆さんが、いっまでも市民に愛される美しい川であってほしいと、錦鯉100匹を放流しました。心安らぐ、美しい流れがいつまでも続くよう、周辺環境を大切にしたいものです。

